

— 我が国初の洋式灯台 —

観音埼灯台は、明治元年(1868)11月1日に三浦半島に起工された我が国初の洋式灯台です。フランス人ヴェルニーの設計によるこの灯台は、それまでとは比較にならない明るさを有し、日本の国際化と近代化に大きく寄与しました。

現在は大正14年(1925)に建設された3代目の灯台が海に光を届けています。

観音埼灯台では航路標識事業の周知啓蒙のため、公益社団法人「燈光会」により参観事業を実施しており、灯台の上まで登り景色を楽しむことができます。資料展示室も併設され、灯台の歴史やレンズ、電球などの仕組みを知ることができます。

ぜひ、観音埼灯台に足を運んでみてください。

お問い合わせ先

公益社団法人 燈光会 観音埼支所

TEL 046 - 841 - 0311

HP <http://www.tokokai.org/archive/data/index.html>

参観時間:9:00~16:30(5月~9月)

9:00~16:00(10月~4月)

管理事務所:横須賀海上保安部

住所 神奈川県横須賀市田浦港町無番地

TEL 046 - 861 - 8366



☆灯台150周年

日本初の洋式灯台である「観音埼(かんのさき)灯台」(神奈川県横須賀市)は、明治元年11月1日に起工されました。平成30年はそれから150周年の節目を迎えます。



灯台設計者 ヴェルニー

観音埼灯台の要目

所在地	神奈川県横須賀市
点等年月日	明治2年1月1日
光り方	群せん白光 毎15秒に2せん光
光達距離	19海里(35.2km)
高さ	19m (地上から構造物の頂部まで)



初代観音埼灯台



インフラ
ツーリズム